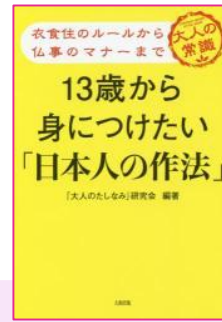


YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。

New!!



『～衣食住のルールから法事のマナーまで～  
13歳から身につけたい「日本人の作法」』  
「大人のたしなみ」研究会/編著  
大和出版 385.9/シ/14

日本のいいところ、日本独自の文化、皆さんは「日本」についてどのくらい語ることが出来ますか？海外の人は自国について、魅力や特徴など沢山語れるのに対し、日本人の多くは日本について、自分の国にも関わらず語ることが出来ないといわれています。他国を理解したいと思う気持ちはどこの国の人も同じです。聞かれた際正しく答えるには、私たちが正しい答えを知っておかなくてはなりません。まず第一歩として、大人になってからも役立つ日本人としての作法を学んでおきましょう!!

# YA 通信

No63 2015年3月号  
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



## 名作たからばこ



『人間失格』<sup>たざい</sup>太宰治<sup>おさむ</sup>/著 旺文社 913/オウ/Z 3階児童

文芸誌、「文学界」2015年2月号に、お笑い芸人ピースの又吉直樹さんの小説「火花」が掲載され、異例の売り上げを記録しました。創刊以来、初めて増刷されることが決まり、話題となりました。10代20代の若い世代が、中心に購入されたそうなので、ご覧になった方もみえるのではないのでしょうか。『人間失格』は太宰治の代表作です。先の又吉さんが一番好きな作家は、太宰治で、人間失格を何十回と読み返されており、読むたびにどんどんおもしろくなっているとコメントされています。重ねて読むことで新たな発見があるのも、読書の醍醐味だと思います。再度読み返してみたいかがでしょうか。

# 仕事

仕事について、皆さんはどう考えますか？楽しそう？辛そう？お金が手に入る？時間がなくなる？仕事とは憧れていても敬遠していても避けては通れない事柄のひとつです。避けられないのであれば、知識を蓄えていずれ来るそのときに備えましょう。



## 『仕事を選ぶ 先輩が語る働く現場64』朝日中学生ウイークリー編集部/編 朝日学生新聞社 36/シ/14

今は就職氷河期！この厳しい戦国時代を勝ち抜き、理想の世界を手に入れるには、力を振るい、夢を語るだけではいけません。今の時代、力はもちろん、知識も優遇されます。ですので、情報を集める必要があるのです。そこで、どのように集めればよいか？先人の言葉に耳を傾けるのが一番手っ取り早い方法です。こちらの本は、先人たちの声の塊です。頭脳戦に相応しい武器を身につけ、大きな戦に立ち向かいましょう。

## 『大人はどうして働くの？』<sup>みやもと えりこ</sup>宮本 恵理子/編・著 日経BP社 366/オ/14

大人はなぜ働くのでしょうか？この本は7人の大人が、それぞれの視点から働く意味について答えてくれています。答えの中には、働く大人の熱い気持ち・誇りがあふれています。さらに、この本は「子ども編」「大人編」に分かれており、大人向けの詳しい話も載っています。もし、皆さんの親が「将来は〇〇になりなさい」「〇〇会社に入れば将来安泰」と決めつけたことを言ってきたら、この本を読んでもらいましょう。考え方が変わるかもしれません。背筋がピンとなる一冊です。



## 『働く人の夢～33人のしごと、夢、きっかけ～』日本ドリームプロジェクト/編 いろは出版 366.2/ハ/08

あなたの夢は何ですか？幼い頃はみんな、将来に対し様々な夢を持っています。しかし、大きくなるにつれ夢がないという人が増えていきます。でも、大人になってからも夢を見つけることは可能です。この本では、まったく異なる仕事をしている33人の大人の夢や夢のきっかけが載っています。仕事を通じて夢を実現させる姿はカッコいいですよ！学生の皆さんはもちろん、お父さん、お母さんにもぜひ読んでいただき、親子で将来について話し合うきっかけにしてください。



## 『子どもだって哲学⑤ 仕事ってなんだろう』

<sup>やざき せつお こみ たろう いしはら さちあき さきの よしはる かんざき しげる</sup>矢崎 節夫 五味 太郎 石橋 幸緒 関野 吉晴 神崎 繁/著 佼成出版社 36/シ/07

### 3階児童

なんで人は仕事をするんだろうって思ったことはありませんか？みんなも働いているから？働かないとお金がなくて生活できないから？大人はみんな働きなさいって言うし？でも皆さんは本当にそんな理由で納得できますか？

この本では5人の著者がそれぞれの人生から導き出した「なぜ？」への答えに溢れています。その答えは、とても共感できることがあれば、それは無いなと思うこともあるでしょう。ですがそれでいいのです。大事なのは自分が何を正解だと思うか。あなたもこの本を読んで、自分なりの「なぜ？」への回答を探してみませんか？





数学

さむらいの刀はどうして折れない？

アンナ・チェラゾーリ/著 いずみ 泉 のりこ 典子/訳

世界文化社 410/サ/06



さむらいの刀が折れないことと数学がどう関係しているのさ、って思ったかもしれませんが。どう関係しているのか気になった方はぜひこの本を手にとってみてください。

この本では、9歳の少年フィーロとそのおじいちゃんが身近にある不思議なこと、困ったこと、楽しいことなど様々なことについて話しています。そこで語られる話を聞いていると、あなたの中の数学のイメージが変わってしまうかもしれませんよ。

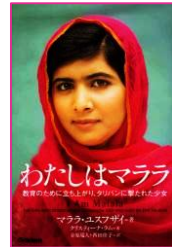
## ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

マララ・ユスフザイ クリスティーナ・ラム/著

かねはら みずひと にしだ よしこ  
金原 瑞人 西田 佳子/訳

学研パブリッシング 289.2/ワ/13 4階一般



17歳でノーベル平和賞を受けたマララの生き立ち、家族、環境、宗教、タリバンに銃撃されて生還し、国連でスピーチするにいたるまでの自伝。学ぶ権利を訴えただけで、銃で撃たれるなんて、考えられないことですが、日本でも、女子教育の歴史は長いものとは言えません。日本の義務教育のすばらしさを享受するとともに、さらに学ぶ意欲のある人々が、その権利を行使できるように、マララのように考え、訴え、行動する勇気を持ちたいものだと思います。「ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えるのです。教育こそ、唯一の解決策です。まず、教育を。」

## はたらくBOOK

毎号一つの職業に関する本をとりあげます。



花屋:生花店と呼ばれる切り花を主に販売する店。及びその店で働く人。

『お花屋さんの仕事 基本のき』 日本フローラルマーケティング協会/編 誠文堂新光社

673.7/オ/134 階一般

昔から女子小学生の将来なりたいものランキングの上位に入り込む「お花屋さん」。駅前や商店街、スーパーの中など、さまざまな場所で目にすることも多いことでしょう。そんな誰でも知っている「お花屋さん」ですが、その実態を知る人は意外とわずかです。一日どんなことをしているの？どこから花を仕入れるの？何が必要？そもそもどうやってお花屋さんになるのでしょうか？あまり知らない花屋の実態を見てください。

他にもオススメ：『花屋さんになるには』 すなが ちなつ 著 ペリかん社 673.7/ハ/00





# YA担当イチオシ!

## 『ザ・ママの研究』

のぶた さよ子 / 著 100%ORANGE / 装画・挿画

理論社 36/サ/10

### どんな本?

「ママって研究するものだったの!?!」題名を見て驚いた人もいるでしょう。誰が、何のためにママを研究するのか。それは、日頃「ママってうるさい」「ママは自分のことを理解してくれない」と悩んでいる皆さんが、もっと上手に気持ちよくママと付き合っていくためです。この本では、自分のママのタイプを知ることができます。さらに、タイプ別の傾向と対策によって、ママとの付き合い方をアドバイスしてくれています。

### ここがオススメ!

この本のすごい所は、母親という非常に身近で自分と切っても切れない関係の人間を、客観視できるようになる点です。「タイプ別傾向と対策」なんて、まるで試験のようです。しかし、試験対策のように、ママはどのような人で自分は何をしたらいいかを冷静に見つめることが、ママへの悩みを解決する第一歩なのです。アドバイスを読み、さらにママを観察してみる。すると、気持ちが整理され必要以上に悩まなくていいのだ、と思えてきます。

## YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本  
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」  
「△△の本はどこ?」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。

春日井市図書館  
春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800  
<http://www.kasugai-lib.jp/>  
ケータイサイトはQRコードから→

